

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2022年3月号(第157号)

発行責任者 中原 幹男



井手 一茂先生



栗原 香菜先生



写真撮影: 仲山 富夫氏

社会参加でいきいき健康づくり

ところざわ倶楽部 会長 中原 幹男



2月27日(日)におこなわれた健康増進セミナー参加者は、出演者を含めて100名を超え、コロナオミクロン株蔓延の中だからこそ開催意義のある内容でした。

井手先生の声は最後尾席まではっきりと届き、データを駆使した講義では、コロナと共生しつつ社会参加することの大事さを学び、ところざわ倶楽部のような団体が存在している地域は健康リスクが低いとの説には溜飲が下がりました。

栗原先生のチアダンス体験会では、観客全員が先生のマジックにかかったように、立ち上がり、笑顔いっぱい手を振り、元気にステップをふむ熱気が舞台側にも伝わりました。

内容、演者、観客の盛り上げ3要素が揃った楽しいイベントになりました。

健康増進セミナーに参加して



《田沼 幹子 葵の会》

井出先生の属する千葉大学予防医学センターの研究結果で認知症になりにくいまちが明らかになったそうです。懸念されている遺伝子や生物学的メカニズムが要因ではなく、一日 30 分以上歩くなど運動をするまち、社会参加を多くしているまちだそうです。

私達ところざわ倶楽部の活動は予防医学の観点から高評価を得ているとのこととても喜ばしく感じました。主な活動である社会参加活動は勿論のことコロナ禍で必要に迫られたインターネットの活用も予防医学に効果があることが分かってきたそうです。更に笑うこと、多様な人との交流がある人は認知症リスクが半減するとのことでした。

第2部のチアアップ体操の実践では栗原先生の率いる「Roots」・「スマイルパイレーツ」の皆さんとチアダンスをしました。当初堅かった演者と観客の顔が次第にほぐれ最後は会場が笑顔で溢れました。まさに笑顔で多世代と交流をすることにより予防医学に役立ち健康寿命が伸びたと実感しました。

《中島 民恵 自然と農業》

第1部 井手一茂講師の主な研究は ・Age Friendly Cities（高齢者にやさしいまち）づくりと ・通いの場における介護予防効果の検証である。私はまちづくりが高齢者の認知機能、健康維持に深くかかわると思っていた。認知症や健康悪化しないためには自助努力が最も有効で、しんどいことであると思っていた。しかし、自助努力も大切であるが、歩きたくなる環境をつくる物理的環境も大切ということを知った。歩道が広く、緑多い公園がそこかしこに在り、小学校区に集える場所を設ける。高齢者にとってやさしいまちづくりとは、どのような人々にとってもやさしいまちであり、異世代との交流もある、段差のない障害物のないあらゆる人たちが憩えるまちである。そして、人との繋がりがりであり、一人でする行動よりも多くの人と一緒に行動、人のためになることをすること、社会的役割を担うことが認知症リスク軽減につながるという。オンラインで顔をみながらの交流も有効とのデータも示された。また、ところざわ倶楽部のようなシニア組織があり、活動が活発な地域はまち全体が活発になるとの説明があった。自身の近未来への重荷が少しとれた良い講座でした。

第2部の健康実践はとても楽しかった。私は初めてスマイルパイレーツに出会ったときからの大ファンである。今後もスマイルパイレーツに度々出会えると良いなあと、待ち望んでいます。

《内川 賢治 懐かしの映画鑑賞会》

健康増進セミナー『社会参加でいきいき健康づくり』の講演会に参加して、特に健康寿命について、現在は、認知症になる人が脳血管疾患を抜いて1位である。男性が多く、「年を取れば誰にでもなれる認知症」難聴、アルコール過剰摂取、抑うつ、運動不足、社会的孤立等認知症になりやすい。ただ、修正可能である。個人だけでなく住んでいる地域、環境が大事である。30分以上歩く人が多い都市、地域は4倍の差で認知症になりにくい。物理的環境、歩道が多い、人とのつながりが高い地域、社会参加しやすい環境が大切である。高齢者に適した環境、1) 心配事を、話す、聞く。2) 社会的役割を持って参加する事。3) 誰かの為に活動する、応援する事。4) 笑い、毎日、たまに、笑いが多い事。5) 社会参加で人とのつながりは一人でやるより多い人と行動する方が認知症になる事は少ない。その意味で、ところざわ倶楽部に参加している人は少ないと思われる。人と会う事、スポーツをする事、会話を多くする事、社会参加をする事で、要介護、要支援を減らすことが出来る。ビデオ通話、Zoom、メール、インターネット等で繋がりを持つことで健康づくりに生かしていける。平均寿命＝健康寿命の介護される時間を減らす事が大切である。これからの健康増進の為に役立つ講演でした。

チアアップ体験 栗原香菜先生指導による、チアダンス、Rootsによる若さ溢れるチアダンス指導を受け「笑顔、元気、応援する気持ち」になりました。スマイルパイレーツも動きが早くて、素晴らしかったです。ありがとうございました。



「世界の平和を考える」シリーズ 第9回

民主主義の行方



稲村 洋二

2021年3月末の米国アラスカ州アンカレッジで開催された米国バイデン政権と中国の初の会談は双方が相手を非難し合う激しい論戦になった。中国の楊氏は「中国には中国の民主主義があり、アメリカや西側世界は国際世論を代表するものではない。世界の圧倒的多数の国々は、アメリカが提唱する普遍的価値観やアメリカの意見が国際世論を代表するとは考えていない。アメリカがいう民主主義も欠点だらけで社会は分断されている」と強い語調でアメリカを非難した。これを聞いて、正直中国に民主主義があるのかと驚いた。

我々の多くが理解している民主主義は普遍的価値をもっており、国によって定義が大きく異なるものではないというのが民主主義国での常識である。人類が共有すべき普遍的価値“自由・人権・民主主義・法の支配・資本主義等”が共有されているとは到底思えない。

また、中国はバイデン政権が開催した民主主義国家サミットに対抗して「中国の民主白書」を発表した。その中ではアメリカの民主主義を一部の富裕層支配による政治体制であり、黒人差別問題、格差の問題等社会を分断している民主社会であると非難している。

中国の民主主義とはそのキーワードは「人民」という言葉にある。中国の憲法には第1条で「中華人民共和国は、労働者階級が指導し、労働者、農民の同盟を基礎とする人民民主主義独裁の社会主義国である」と規定し、第2条で「あらゆる権力は人民に属する」と規定している。そこには国民主権という言葉はない。つまり、国民と人民は異なるものであり、国籍を持つ国民が人民であるという訳ではない。

人民に属さない国民は、人民の敵であり、人民が持つ権利は行使できないが、法律を守るなどの義務を負うというものである。

当時の周恩来首相はよりはっきりと「人民と国民には区別がある。人民とは労働者階級、農民階級、反動階級から目覚めた一部の愛国民主分子である」としている。

そして人民に含まれない人達については「中国の一国民ではあるので当面彼らには人民の権利を享受させないが、国民の義務は遵守させなければならない」。



中国の論理からすると、中国共産党が一党支配する現在の中国政治を批判する人は、中国の国籍を持っても主権を行使できる人民ではなくなるばかりか、人民の敵となってしまう。

中国のさまざまな法律に基づいてさまざまな権利を奪われてしまううえ、言動が規制されてしまう。最近の例では、香港での「香港国家安全維持法」が良

い例である。イギリスとの国際契約を一方的に破棄し市民の自由を求める活動を弾圧した。

1989年6月4日の天安門事件で民主化要求の行動を当局がテロならぬ「動乱」と決めつけて虐殺を行った。

これまで民主・自由を手にするには多くの血が流されて来た。その中で稀有な例として民主化に成功したのは李登輝総統が率いる台湾である。台湾は一党独裁の下で1996年に初めて総統直接選挙を実施し、初の民選総統になって民主化を成し遂げた。李登輝氏は民主主義について“時を待つ、そして国民の声に耳を澄ます。そして改善を行う。

その繰り返しに耐えることが、政治家の仕事に他ならない”と言っている。

台湾は既に独立した民主主義国家である。新たに独立を主張することなく現状を維持すべきでありそれを我々は支持する。民主主義は多数決原理だから大多数の人が選択する方に従うしかなく、最良の政治が保証されないからどこかに不満が残る。

第二次世界大戦に勝利したチャーチル英首相は“民主主義は最悪の政治形態らしい。但し、君主制や独裁制よりもましだ”と語っている。

1989年の天安門民主化運動に参加しアメリカで引き続き活動する楊建利氏は下記のように日本への期待を示した。

“アジアで最も経済実力を持つ民主化された先進国である日本に、アジアをカバーする民主共同体の盟主となって欲しい。中国の民主化運動にもっと興味をもって欲しい。

かつて辛亥革命を手伝ったのも日本人でした。中国が民主化し、共通のルールや価値観のもとで、話し合いで問題を解決できる近代国家になれば、日本にとって一番の安全保障になると思います”

さて、今のウナギ宰相といわれる日本の現首相に背骨が入るのかよく見ていく必要がある。



ところざわ倶楽部への想い



ークライネス・コンツェルトハウス管弦楽団からのラブコール

ヴァイオリニスト 三戸素子（所沢在住）

「コロナ自粛で新入会員の歓迎もできなかったんだ。何もないのは残念だから、ところざわ倶楽部でチャリティコンサートをやろうと思う。三戸さんのオーケストラも紹介したいしさ。」とお声がけ頂いたのは、ちょうど去年の今頃のことでした。



いつも何かと力になっていただいている松尾さんからのお話です。すぐに「喜んで!」とお返事しました。それに数年前から、チェリストの小澤洋介と私とで何年もかけて発展させてきた、一流の仲間たちとのオーケストラを、根なし草ではなく私たちの地元・所沢を本拠地にできないかしら、という願いを抱くようになり、それを地域の、それも文化芸術に親しんでおられる方々に、オーケストラ「クライネス・コンツェルトハウス管弦楽団」を知っていただくのになるほど良い機会だ、と私も思ったからでした。これがところざわ倶楽部との接点となりました。

実は私はこんなに長く所沢に住んでいるのに、ところざわ倶楽部をそれまで知りませんでした。コンサートの打合せをしているうちに、次第に倶楽部の会員の方々とお知り合いになり、いよいよ昨年4月、新所沢公民館でのコンサート会場でそれは熱心に準備をしたり、親しげに話しておられる皆様とお会いしていると、なんだか旧知の方々のように感じてきました。それは、私自身が今まで参加してきた活動や勉強会で、普段の姿を忘れ、自分の興味ある世界に飛び込んで意気投合し、楽しく過ごした多くの人々が思い出されたからでした。

ヨーロッパで出会ったさまざまな、美術ファンが集まって講師の先生をお呼びして歴史ある街の美術館をめぐり歩くグループ、日本の陶器に憧れて思わず後ずさりするような作品を作っているグループ、中世の料理を研究して作ってみるグループなどなど、みんなとてつもなく面白そうに語り、没頭していました。ただでさえ興味深い分野を、自分の意思で飛び込んで、それも孤独ではなく同じ方向を向いた仲間たちとノルマのプレッシャーもなく、しかし野心を持って取り組むのですから、生き生きとしないはずはありません。



オーケストラの演奏後、メンバーがお互いを讃えあい、ねぎらっている様子

ところざわ倶楽部も、どこの市町村にもある訳ではない、稀少なものに私には思えます。人生は短く、世の中には興味深い素晴らしいものに満ちています。自分のやりたいことと学びたいものに身を投じるというのは、以外と簡単ではない、でもこれこそがとても素敵な人生の使い方なのだと思います。私も、ところざわ倶楽部の皆さんの各々のサークル活動に賭ける熱い想いと同じように一生かけて出来るだけ遠くまで音楽の道を歩んでいきたいと願っています。

そして早くコロナ、ウクライナ情勢も収束して、平和に文化を享受出来る環境がいつまでも続いて行けるようにと願っています。



環境問題シリーズ 第17章

おさらい「COP26」のポイント

地球環境に学ぶサークル 大江 宏

1.COP26 とは？

「COP」は、Conference of the Parties の略で「コップ」と読み、「締約国会議」と訳されます。条約に加盟する国々が行う会議です。いろいろな COP がありますが、「COP26」は、国連気候変動枠組条約第 26 回締約国会議の略で、国連が主導して気候変動に関する対策を議論する第 26 回目の会議を指します。この COP26 は、昨年英国のグラスゴーで開催され(グラスゴー会議、2021/10/31-11/14)、国連加盟国と同数の 197 の国と地域が参加しました。

この COP26 に先立つ 2015 年の COP21(パリ会議)で、「パリ協定」が採択されています。これは COP3(京都会議)で採択された「京都議定書」に代わり、2020 年以降の気候変動対策の概要を定めました。先進国だけでなくすべての国を対象に、「今世紀後半までに世界の気温上昇を産業革命以前と比べて 2 度より低く保ち、1.5 度に抑える努力をする」ことが長期目標です。



2.パリ協定を受けた COP26 の成果＝「グラスゴー気候合意」は？

①パリ協定の気温上昇に関する長期目標を、2 度未満から 1.5 度に強化することに世界が合意したことが最大の成果です。1.5 度目標を目指すには、2050 年頃には世界全体の温室効果ガス(CO₂で代表)の排出量を実質ゼロにし、2030 年までに世界全体の CO₂排出量を 2010 年比で 45%の削減が必要になります。高い目標への合意は、現実の気

候危機の共有、再エネの著しい普及、そして COP26 直前に「温暖化に対する人間の影響は疑う余地がない」と断じた IPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)の科学的知見などが後押しとなりました。

②途上国が排出量削減に取り組むための資金の追加支援と資金議論の継続を決定。

③パリ協定第 6 条などの実施指針(ルールブック)が合意されて 6 年越しにパリ協定が完成しました。残されていた市場メカニズム活用などに関する詳細なルールが決まりました。

④排出削減対策のない石炭火力発電を段階的に削減する声明を発表しました。

3.COP26 の主な課題は？

すでに 1.2 度上昇している状況から、1.5 度の高い長期目標を目指して、世界が全速力で走り出せるかどうかです。この目標を目指すには、全ての国、全ての関係者が、社会システムの変革を含む本気の対応が必要です。日本を含めて、現状の削減政策や 2030 年目標は、1.5 度目標に合致していません。まずは今年末までに、2030 年目標を「再度見直し、強化し」報告することです。

4.日本にとっての COP26 の意味は？

日本は、2030 年に 2013 年比で 46%削減、さらに 50%の高みを目指す、そして 2050 年に実質ゼロという目標を持ち、途上国へ 100 億ドルの追加資金支援を行うと表明し一定の評価を得ています。しかし、新技術依存の石炭火力維持は、脱石炭火力の世界の潮流から外れています。

また、エネルギー効率の改善を促す炭素税の強化や、パリ協定 6 条の本格始動が決まり、排出量取引制度の整備も急務です。原発が地震に加え、テロや戦争の対象になることが現実となり、原発に頼らない再エネ 100%のカーボンニュートラルを目指して行くべきでしょう。

【参考文献】小西雅子「COP26 はどこまで到達したか？」
『世界』2022 年 1 月号

サークル活動報告

「人生会議」ってご存知ですか？

活きいきシニア福祉の会
川上 紀春

北京冬季五輪が閉幕しましたが、日本選手の活躍に元気をもらうことができました。

一方、オミクロン株の脅威は続き、ロシアはとうとうウクライナに武力侵攻を開始してしまいました。コロナ禍も政治的問題も一日も早く好転に向かうことを願うばかりです。

私達サークル活動も全員が参加することが難しい状況ですが、印象に残った2テーマについて報告します。

(2021年10月例会 講演聴講)

「在宅介護」は私達サークルの重点学習の一つです。元安松地区西包括支援センター長で退職後、居宅介護支援事業所を始められた方の講演を聴講しました。経験に基づく講演は大変参考になり、介護等に関して最初に相談窓口となる「包括支援センター」の重要性を再認識しました。

皆さんも万一来に備え、ご自宅地区のセンターの場所、電話番号等を確認しておきましょう。

(2021年11月例会 DVD 視聴)

人生100年時代と言われるようになり「元気で長生き」が理想ですが、いつかは人生の終焉となります。自分らしい尊厳ある暮引きをむかえるため元気なうちに、将来の医療及びケアについて家族、近い人や医療関係者と繰り返し話し合いを行い共有することを

「人生会議 ACP:アドバンス・ケア・プランニング」といいます。「私の意思表示ノート」

(埼玉県医師会のHPよりダウンロード可)はその内容を記録するノートです。ハードルは高いと感じますが、きっかけがあれば実践したいと思います。



楽しい音楽を一緒に♪♪

楽悠クラブ

田村 健一郎

2021年度後半7月～12月の音楽鑑賞の概要を示します。

1. 「日本の伝統音楽特集」長唄、浄瑠璃、浪曲、三味線、箏、落語など会員希望により鑑賞
 - ・ にっぽんの芸能：レア楽器大集合
 - ・ 箏：春の海 宮城道雄・三味線：高橋竹山（津軽三味線）杵屋響泉（104歳の長唄三味線奏者）
 - ・ 浄瑠璃：曾根崎心中、人形浄瑠璃文楽
 - ・ 長唄：あわて床屋
 - ・ 雅楽：雅楽への誘い（宮内庁楽部）・落語：寄席囃子、落語出囃子集
 - ・ 浪曲：国本武春「浪曲の楽しい聞き方」、三波春夫「元禄名槍譜 俵屋玄蕃」ほか
2. ワーグナー歌劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」の鑑賞

作曲：リヒャルト・ワーグナー

台本：作曲者ワーグナー自身による（ドイツ語）

演奏：メトロ歌劇場管弦楽団&合唱団

指揮：ジェイムス・レヴァイン

演出：オットー・シエンク

ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場 2001年12月収録（約4時間15分）

現在上演されているワーグナーのオペラの中で唯一の喜劇作品で、物語の内容は「人間と芸術の素晴らしさ」を描いています。マイスタージンガー (Meistersinger) とは「親方、名人 (Meister)」と



パイロイト音楽祭のメイン会場の

パイロイト祝祭劇場

「歌手 (Singer)」が組み合わせさった言葉です。パイロイト音楽祭で、しばしば上演されています。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868)

3月17日(木)中央公民館13:00～13:30 準備・受付、13:30～15:30
及川先生、万葉集⑬最終回講義、15:40～16:30 例会、16:30～後片づけ
4月14日(木)中央公民館6号室13:00～13:30 準備・受付、13:30～
15:30 竹内先生、西行山家集①、15:40～16:30 例会、16:30～後片づけ
聴講者 歓迎！

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

3月9日(水)13:30～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
久保田俊介氏による講演
「日本式教育法とユダヤ式天才教育法」
4月20日(水)13:30～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
テーマ：日米地位協定について

3. 活いききシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548)

3月23日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター 定例会
「フレイル」について学ぶ
フレイルとは、健常から要介護へ移行する中間の段階と言われている。正しい知識を学びましょう。
4月27日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター 定例会

4. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)

3月8日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9号学習室
ヴェルディ 歌劇「アイダ」
4月12日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9号学習室
ドキュメンタリー「指揮者 ハイテンクの我が人生」
ヴェルディ 歌劇「リゴレット」

5. 食を通して所沢を知る会 (岡部 まさこ 080-5872-1868)

3月22日(火)10:00～12:00 時 ふらっと 会議室
「昆虫食について ～将来の食料問題を考える～」 担当 玉上
4月26日(予定) 増田園にて新茶つみ体験

6. 地球環境に学ぶ (小田原 一博 080-6537-2670)

3月15日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館
3月定例会:環境討論会(身の回りの省エネの徹底方法 他)
3月16日(水)10:00～12:00 新所沢東公民館
読書会:「農業消滅」鈴木宣弘著(第2回)

7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

4月13日(水)13:15～15:00 中央公民館 1階 学習室3号
定例会 テーマ「災害に対する危機意識を高めよう！」
◇SP スマイルパイレーツ練習日◇ お試し・見学大歓迎！
3月12日(土)13:30～16:00 生涯学習推進センター 多目的室
3月26日(土)13:30～16:00 生涯学習推進センター 多目的室

8. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751)

3月10日(木)13:00～15:00 新所沢公民館 定例会
3月15日(火)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア
3月19日(土)10:00～12:00 トトロ21号地整備作業
3月24日(木)9:00 春の花見ハイキング
3月25日(金)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア

9. 野老澤の歴史をたのしむ会 (栗屋 貴夫 090-2746-9840)

3月31日(木) 松井地区散策
4月7日(木) 川越夜戦跡・東明寺と新河岸川堰堤散策
4月21日(木) 伝統工芸「安松ざる」の講習・他

10. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

3月12日(土)10:00～12:00 中央公民館 3号学習室
「ヘンリー8世」朗読続き
3月19日(土)10:00～12:00 中央公民館 3号学習室
事項：未定 (シェイクスピア戯曲朗読)

11. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

3月8日(火)10:00～12:30 西新井町会館
邦画「細雪」佐久間・吉永・古手川・岸 (83年 東宝)
3月22日(火)10:00～14:30 西新井町会館 イベント有
洋画「チャプリンの独裁者」(60年 製作'40) チャップリン
※季節の節句行事「桃の節句」 ひな飾りなど展示

12. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

3月28日(月)13:30～16:00 こどもと福祉の未来館多目的室2号
会員の脳活について発表と意見交換会
4月25日(月)13:30～16:00 こどもと福祉の未来館多目的室2号
令和4年度「総会」今期の活動内容を皆で検討します

13. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

3月23日(水) 新所沢東公民館 研修室5号
「3グループ活動報告」と「財政学習会」
教材「市民から見た所沢市の財政」は当日配布予定
4月18日(月)「4月定例会」を予定。

14. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

3月18日(金)10:00～13:00 こどもと福祉の未来館
1階多目的室2号 定例会
所沢の民話『とんぼの宿り木』『弘法の三ッ井戸』録画録音
4月15日(金)10:00～13:00 こどもと福祉の未来館
定例会

理事会報告 2月14日(月)第3回理事会を開催しました。

◆2月27日に開催の「健康増進セミナー」は、ウイズコロナの状況下でも、社会参加を通じた健康づくりの大切さを実証する講演と、元気と笑顔を共有するチアダンス体験の催しとして行われ、会員中心に108名の参加者と共に「元気の出る」時間を過ごしました。
事業部：今年の「文芸講座」を、3月中を目途に企画内容を決定。
4月23日新特別会員の三戸素子さんによる「おはなしと演奏の会」

広報部：3月のパソコン相談会 (新所沢公民館)

- ① 3月24日(木) 13:00～16:00
- ② 3月31日(木) 13:00～16:00

総務部：3月14日第4回理事会において、現14サークルに対し、規定に基づき第15期「活動補助費」給付を決定。

3月14日(月) 第15期第4回理事会 新所沢東公民館 講堂

みんなの広場 第37回

アジア研究会 松尾基昭

ロシアの軍事侵攻に想う

これまでクリミア占拠以来大きく取り上げられてきたロシアの覇権主義の拡大問題が、ここに来てまさかの急展開となりました。バイデン大統領が「あるある」と何回も公式発表していたものの高度の情報戦の世界かたやや半信半疑でしたが、残念ながら事実となりました。

それにしても今の状況はマスコミでは戦争と言う言葉が使われていますが、いまいち腑に落ちません。これは明らかにウクライナという自主国家への一方的な軍事侵攻という国際法に反する国家犯罪です。良くわからない「ジェノサイド」とか「ネオナチ」という大義を掲げていますが、単なる犯罪で許すことは断じてできません。

50年前イタリア人女優ソフィアローレン主演の「ひまわり」の名画を思い出しました。悲愛の最後の場面、あの広大な一面のひまわり（sunflower）畑の映像の世界が、又戦場と化し殺戮の世界が展開されるのかと思うと本当に心が痛みます。

「人類は学ばない」とか、「歴史は繰り返す」とかの諺がありますが、ここは進化した人類の知恵に賭けたいと思います。幸いにも微妙な姿勢の違いが見えていた西側諸国も「SWIFT」（金融の武器かつ諸刃の剣）というカードを切ってきました。何か民主主義の世界が一体となってこの大難に立ち向かおうとしているようにみえます。

この記事が掲載される頃には先に明るい兆しが見えていることを切に願っています。

むさし野俳句会（令和四年三月）作品抄

松挿す玻璃戸少なき山家かな
梅咲いて茶話会といふ村おこし
入口の野菜を買ふて梅見かな
蒼天に白梅香る園路かな
ジグザグの枝の影踏む梅の園
炬話や横座を占める熊の皮
春の風邪長電話して一日過ぐ

佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
利根川啓一
中嶋 弘子
橋本 佑子
平栗 彰子

垣根越し香りを運ぶ春の風
パッチンと夜爪切る音返る
老いごころなほ待ち侘びる雛飾り
凍解の水奔りゆく背戸の川
どんぶりの縁の吉の字春ささす
夕五時の窓の明るさ春の雪
月光にあらずや窓の雪明り

宮本 信生
荒幡千鶴子
井出 昇
海老澤愛之助
小林 貞夫
小林 典子
鈴木 征子

「むさし野俳句会」も新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言以降なるべく短時間で句会を行うようにしております。しかしながら、高齢化には逆らえず最近メンバーが減少しています。第一火曜日の九時三十分から行いますので左記三名の者に照会下さい。

連絡先 佐藤（八） 2948-8247 中嶋 2994-6045 海老澤 2922-0259

《編集後記》

「春はあけぼの、やうやう白くなりゆく山際すこしあかりて・・・」と春の美しい表現は心をとらえるが、早起きが苦手な人には想像のうち。

山桜が咲く頃、木々が一斉に芽吹いて山全体がモクモクとしてくる。新緑になる前の 2、3 日だけ山が萌黄色に染まる、この景色だけはどうしても見逃せない。

坂口安吾は「桜の森の満開の下」で、人の内なる孤独を表現したが、根が単純な私は難しい事は考えない。ただ春を待っていた。この冬は寒い日が多かったせいか春が待ちどろしかった。庭のあちこちから芽が出てきて、「あれー、見た事が無い物が出ているけど何だろう？」「やだー、また忘れちゃったのー。じゃあ、花が咲くまでのお楽しみね。」といった会話。

庭が花でいっぱいになるのもあと少し。でも庭に来ていたメジロやシジュウカラとは冬までお別れ。

新型コロナに振り回されて2年余り、世界情勢も不安がつるが平和で平凡な生活が続くことが一番の幸せだとつくづく思うこの頃だ。（岩瀬 記）

「広場」問合せ 玉上 佳彦（090-2497-1076）

川柳〔七十二〕 作品発表 選 中島峯生

課題「保育園」

転んでもガマンガマンと声かける
毎朝のぐずりは決まり保育園
もう一度やり直すなら保育園
保育士は疲れも見せず子らを追う
保育園嫌いなものも友と食べ
保育園駄々こねた日は大昔

「自由題」

マスコミの刺激報道愚を呼ぶ
いちご狩り今年も赤くならないと
オンラインあわてて部屋をリニューアル
筋トレと思えば家事もらく楽
誕生日ウニとゴディバのプレゼント
物忘れ磨きがかかり四苦八苦

どうし 海さとし 突拍子 庵閑子
どうし 海さとし 突拍子 庵閑子
どうし 海さとし 突拍子 庵閑子
どうし 海さとし 突拍子 庵閑子

次回（第72回）課題「友達」そして「自由題」

締切り日：3月20日、担当中島まで、どなたでも

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp Fax 04-2928-1161